

(注意) 自分の住所氏名を記入して切手をはりつけた返信用封筒を必ず同封すること。

[以上横組]

(二) 卒業生演奏会

『同声会会報』第二八七号(昭和三十八年六月)によると、音楽学部からは毎年二百名近くが卒業するが、新人は容易に演奏会出演の機会に恵まれない現状から、同声会として、すべての新人を一度は楽壇に紹介する義務があるのではないかという意見が理事会の話題に上るようになった。実現に向けての努力の末、昭和四十八年四月十六日から連続五日間、東京虎ノ門ホールにて、第一回東京芸術大学音楽学部卒業生演奏会が開催され、昭和四十八年三月の卒業生のうち希望者一四人が出演した。

第一回プログラムは次のとおり。

東京芸術大学音楽学部

昭和四十八年(三月) 卒業生演奏会

主催 芸大音楽学部同声会

同声会が今年度始めて新卒業生の演奏会を開催すると云う話を聞いて、大変結構なことだと喜んでいきます。若い人々のために、先輩諸兄弟が門出を祝い開かれるこの会は、意義深いことと思います。今年演奏する皆様は又来年卒業する後輩のため是非力になって頂きたいと思えます。このようにして今後同声会の隆盛を祈る者です。

東京芸術大学学長 福井直俊

芸大には昔から独特な雰囲気がある。これは校風というほどのものではないが、学生も先生もある共通の一体感で結ばれていると云う点である。それというのは先生と学生が単に頭腦的な交流で終ることなく、技術を教え教わると云う体感的交流がそこにあるからであろう。この様な一体感は、卒業生の会である同声会にも反映しているようであるが、今回の新卒業生の演奏会はこの感覚をさらに助長し、卒業生に対して良い贈り物になるであろう。

私としては、今回のこの演奏会を開いてくださった同声会に敬意と謝意を覚える次第である。

東京芸術大学教授
音楽学部長 池内友次郎

今年も若い人達が大勢大学を卒業して行った。若いと云うことは本当に素晴らしい。若さに変る財産はない。だが若い故に卒業の時は誰も同声会の様な卒業生の組織に関心を持つよりも、むしろ先へ進むことの方に意識が集中するものである。がしかしやがて誰れも過去をふり返る時がやって来るだろう。その時に同声会の存在は重大な精神的支えになるものである。

今回の同声会の事業が卒業生に取ってひとつの思い出になれば幸いである。

同声会会長 井上武士

御出演の諸君、本日はお目出度う御座居ます。芸術大学四年間の成果を存分に發揮して下さい。六千の先輩同窓生は諸君の門出を心から祝福し、今後の御活躍を期待して居ります。

なお、この演奏会を開催するに当って献身的に御尽力下さいました担当の理事各位に心からお礼を申し上げますと共に、御後援を頂きました各位に厚く御礼を申し上げます。

同声会理事長 酒 井 弘

第一日（四月十六日（月））

1. ソプラノ独唱

紙谷加寿子

ます

歌劇「魔弾の射手」より「やさしい若者がやって来る」

シューベルト

ウェーバー

2. ピアノ独奏

青山夏実

謝肉祭（作品九）より

シューマン

3. ヴァイオリン独奏

石井直子

ヴァイオリン協奏曲（ホ短調）作品六四

メンデルスゾーン

第一楽章 Allegro molto appassionato

4. ソプラノ独唱

小林明美

歌劇「椿姫」より「あゝそは彼の人か」

ヴェルディ

「花より花へ」

5. ピアノ独奏

阿部 陽子

ピアノソナタ（第二番）ニ短調 作品一四

第一楽章 Allegro ma non troppo

第二楽章 Scherzo (Allegro marcato)

第三楽章 Andante

第四楽章 Vivace

プロコフィエフ

6. アルト独唱

浅野公子

まじろみはいよいよ浅く

歌劇「シンデレラ」より「あゝ去り行け憂い」

ブラームス
ロッシニ

7. ピアノ独奏

井上佳子

ソナタ（第三番）作品五八

第一楽章 Allegro maestoso

第四楽章 Finale Presto ma non tanto

ショパン

〈休〉

8. テノール独唱

大西由則

歌劇「アフリカの女」より「おゝパラダイス」

妖精の瞳

マイアベーア
デンツァ

9. ピアノ独奏

梅村ひとみ

ピアノソナタ

第一楽章 Allegro

第二楽章 Andante

第三楽章 Presto

三善 晃

10. ヴィオラ独奏

杉村雅子

11. ヴィオラソナタ（ヘ長調） 作品一一の四
オーボエ独奏
齋藤 勇二
テレマン
12. ソプラノ独唱
私が幸せになるためには
歌劇「ル・シッド」より「泣けひとみよ」
佐伯久美子
ヘンデル
J・マスネー
13. ピアノ独奏
安永順子
クライスレリアーナ（作品一六）より
シューマン
14. ヴァイオリン独奏
石井光子
無伴奏ヴァイオリンソナタ第三番バラード（作品二七）
イザイ
15. テノール独唱
萩原修三
月の光
歌劇「ミニヨン」より「ロマンス」
フォーレ
トーマ
16. ハープ独奏
執行道子
序奏とアレグロ
M・ラヴェル
17. アルト独唱
岩村早苗
解放された気分で
歌劇「ノルマ」より
R・シュトラウス
ベルリーニ

アダージェザの詠唱「祈りの歌」

18. ヴァイオリン独奏
田辺節子
ヴァイオリン協奏曲（ニ長調） 作品二七
第一楽章 Allegro non troppo
ブラームス
19. フルート独奏
糸井正博
フルートとピアノのためのソナタ
第一楽章 Allegro malinconico
第二楽章 Cantilena
第三楽章 Presto giocoso
F・プーランク
20. ピアノ独奏
横山由紀子
「展覧会の絵」より
プロムナード、ごひと、古城、牛車、
穀から出られぬひよこの踊り、
サミエル ゴールデンベルクとシュミュイレ
ババ・ヤーガの小屋、キエフの大門
ムソルグスキ
- 第二日（四月十七日（火））
1. ピアノ独奏
奥千絵子
前奏曲集（作品二八）より
ショパン
2. ソプラノ独唱
杉浦三和子
あなたこそ心の冠（作品二一の二）
歌劇「仮面舞踏会」より「私の最後の願い」
R・シュトラウス
ベルデイ

3. ソプラノ独唱

鈴木真貴子

歌劇「ルチア」より「あなたは沈黙にとざされて」

ドニゼッティ

4. ピアノ独奏

小原ひろみ

ソナタ(第三番)一、三、四楽章

ショパン

5. ヴァイオリン独奏

門田陽子

ヴァイオリン協奏曲(ホ短調) 作品六四

メンデルスゾーン

第一楽章 Allegro molto appassionato

6. アルト独唱

大志万妙子

歌劇「セミラミーデ」より「麗しい光が」

ロッシーニ

歌劇「ファヴォリータ」より「おゝ我フェルナンド」

ドニゼッティ

〈休〉

7. ピアノ独奏

上原真知子

幻想曲集(作品一一六)

ブラームス

1. Capriccio (ニ短調)

2. Intermezzo (イ短調)

3. Capriccio (ト短調)

4. Intermezzo (ホ長調)

5. Intermezzo (ホ短調)

6. Intermezzo (ホ長調)

7. Capriccio (ニ短調)

8. フルート独奏

大橋容子

「しほめる花」の主題による序奏と変奏(作品一六〇) シューベルト

9. テノール独唱

笠井幹雄

歌劇「ドン・ジョバンニ」より「その間に恋人を」

ひそやかな誘い

モーツァルト
R・シュトラウス

10. ピアノ独奏

小野悦子

パガニーニの主題による変奏曲(第一集)イ短調 作品三五

ブラームス

11. サクソフォーン独奏

佐々木雄二

ラブソディ(作品九二)

P・ペロン

12. ソプラノ独唱

土橋万里

歌劇「カプレテイ家とモンテッキ家」より「おゝいくたびか」

歌劇「ボエーム」より「私の名はミミ」

ベルリーニ
ブッチーニ

13. ピアノ独奏

久保春代

ダヴィット同盟舞曲集(作品六)より

シューマン

〈休〉

14. ヴァイオリン独奏

木村真弓

イントロダクションとロンド カプリチオーゾ(作品二八)

サンサーンス

15. バリトン独唱

池田直樹

あきらめ

ベートーヴェン

楽劇「ニュールンベルグのマイスタージンガー」より
ハンス・ザックスのモノローグ「迷いだ! みんな迷いだ!」
ワーグナー

16. フルート独奏

新谷 要一

・リノスの詩

アンドレ・ジョリベ

17. アルト独唱

欠田登久子

歌劇「サムソンとデリラ」より「愛よ力を与えよ」

サンサーンス

18. テノール独唱

地村 信克

歌劇「アルルの女」より「フェデリコの嘆き」
遠くはるかな日々

チレア
レスピーギ

邦楽演奏（四月十八日（水）午後一時開演）

曲目

一、宝生流 能

シテ 広島克榮

経 政 ワキ 楠木岑男

大鼓 安福春雄
小鼓 亀井俊一

笛 藤田次郎

後見

寺井良雄
衣斐正宜

地謡

渡辺他賀男
水上輝和
大坪喜美雄

当山興道
佐野 萌
田崎隆三

二、長唄

常磐の庭

杵屋六左衛門 作曲

三味線唄

伊勢 羽根田 弥生
寺門 ミユキ
湯本 梅子
矢作 尚美
尾崎 珠子

三、箏 曲

嵯峨の秋

菊末檢校 作曲

四、長唄

本手 尾崎 信子
長谷川 紀子
替手 北川 嘉子
中川 隆子

綱 館

大薩摩絃太夫 作曲

三味線唄

羽根田 精子
伊勢 弥生
近藤 早苗
赤平 ユリ
赤木 直明
矢作 尚美

五、箏 曲

琉球民謡による組曲 牧野由多可 作曲

第一箏 石本さとみ
佐藤 正子
第二箏 沖 治 恵
藤木 豊子

十七絃 八田 清隆
尺八 青木 静夫

第三日 (四月十八日(水))

1. ピアノ独奏
小林 節子
フモレスケ (作品二〇)
シューマン
2. ソプラノ独唱
中田 順子
つばめ
星
エバ・デ・ラツカ
R・シュトラウス
3. ヴァイオリン独奏
上月 恵
バイオリンとピアノのための「四つの小品」より
ヨゼフ スーク
I Appassionato
II Un poco triste
III Burleske
4. ピアノ独奏
後藤 富美雄
パガニーニの主題による変奏曲 (第一集 作品三五)
ブラームス
5. アルト独唱
河野 和美
私のバラ
歌劇「フィデリオ」より「悪者よ！どこへ急ぐのか」ベートーヴェン
シューマン
6. コントラバス独奏
大津 三男
コントラバスコンツェルト (作品三) 嬰へ短調 全三楽章
クーセヴィツキー
7. ピアノ独奏
8. ソプラノ独唱
杉本 安子
ヘンデルの主題による変奏曲とフーガ (作品二四)
ブラームス
長野 由美
月の光
マンドリン
巷に雨の降ることく
フォーレ
ドビツシイ
ドビツシイ
9. フルーツ独奏
竹脇 仁美
ソナタ (イ短調)
I Vivace
II Largo e dolce
III Allegro
バッハ
10. ピアノ独奏
杉山 哲雄
交響的練習曲 (作品一三)
シューマン
11. テノール独唱
丁 忠道
歌劇「カイロの鷲鳥」より「ビヨンドロのアリア」
モーツァルト
我が悩みは美しいゆりかご
R・シューマン
12. テンパニー独奏
永曾 重光
テンパニーとオーケストラのための協奏曲 (Op34)
ベルナーテリヘン曲
I Allegro assai
II Lento
III Allegro moderato

〈休〉

13 ソプラノ独唱

西野 伸子

「友人フリッツ」より「このわずかな花」
歌劇「トウランドット」より「おききください」

マスカーニ
ブッチーニ

14

海保 泉

ソナタ (二長調)

C・テッサリーニ

第一楽章 Allegro

第二楽章 Adagio

第三楽章 Allegro

15 バリトン独唱

大森 文隆

鳥刺しハインリッヒ (作品五六)

歌劇「フィガロの結婚」より「伯爵のアリア」

レーベ
モーツァルト

16

近 眞理子

ヴァイオリン協奏曲第一番二長調 (作品一九)

プロコフィエフ

第一楽章 Andantino

第二楽章 Scherzo

17 アルト独唱

清水 信子

歌わないで美しい人よ

歌劇「サッフォー」より「おゝ私の不死の手琴よ」

ラフマニノフ
グノー

18 ピアノ独奏

吉村 知子

ソナタ (口短調)

リスト

第四日 (四月十九日(木))

1. ソプラノ独唱

肥後 幹子

歌劇「ファウスト」より「宝石の歌」

「愛」(作品六八) No.5

グノー
R・シュトラウス

2. ピアノ独奏

篠崎 れい子

「展覧会の絵」より

プロムナード、こびと、古城、牛車

殻から出られぬひよこの踊り

サミエル・ゴールデンベルグとシュミュイレ

パパ・ヤーガの小屋、キエフの大門

ムソルグスキー

3. ヴァイオリン独奏

眞藤 文子

ヴァイオリン協奏曲 (二長調)

第一楽章 Allegro con fermezza

ハチャトリアン

4. アルト独唱

中沢 房子

彼女は愛を語らない

歌劇「サムソンとデリラ」より

「私の心はあなたの声に咲く」

ハイドゥン
サンサーンス

5. ピアノ独奏

福津 裕子

クープランの墓

ラベル

6. ヴァイオリン独奏

清家 一恵

ヴァイオリン協奏曲 (二長調) 作品七七

第一楽章 Allegro non troppo

ブラームス

7. ソプラノ独唱
松本泰子
歌劇「リゴレット」より『慕しい名よ』
ヴェルディ

〈休〉

8. ピアノ独奏
牧野照美
幻想曲（ハ長調）作品一七
第一楽章 *Sempre fantasticamente ed appassionatamente*
第二楽章 *Moderato sempre energico*
シューマン

9. コントラバス独奏
片山敏夫
コントラバス コンツェルト（作品三）嬰へ短調 クーセヴィツキー
第一楽章 *Allegro*
第二楽章 *Andante*
第三楽章 *Allegro*

10. フルート独奏
野口博司
「しほめる花」の主題による序奏と変奏（作品一六〇） シューベルト

11. ピアノ独奏
松本文
十二の練習曲より第二集 七番〜十二番
ドビッシー

12. アルト独唱
西垣利美
私の悩みの美しいゆりかご
歌劇「リナルド」より『愛しの花嫁』
シューマン
ヘンデル

13. ヴァイオリン独奏
守田千恵子

ヴァイオリン協奏曲ニ短調（作品四七）
第一楽章 *Allegro moderato*
シベリウス

〈休〉

14. フルート独奏
山本万理子
フルート協奏曲（ト長調）
第一楽章 *Allegro*
第二楽章 *Arioso mesto*
第三楽章 *Allegro vivace*
クヴァンツ

15. ソプラノ独唱
向山尚子
歌劇「アイダ」より『勝ちて帰れ』
ヴェルディ

16. ピアノ独奏
安井耕一
ソナタ（ホ長調）作品一〇九
1. *Vivace ma non troppo*
2. *Prestissimo*
3. *Andante molto cantabile ed espressivo*
ベートーヴェン

17. バリトン独唱
桜井直樹
いかにおわすや我が女王
歌劇「アンドレア・シエニエ」より『国を裏切る者』
ブラームス
ジョルダノ

18. ヴァイオリン独奏
松岡まり子
ヴァイオリン協奏曲（ニ長調）作品三五
第一楽章 *Allegro moderato*
チャイコフスキー

19. ピアノ独奏

横井政子

練習曲(作品二五)より

2. Presto

4. Agitato

6. Allegro

8. Vivace

10. Allegro con fuoco

12. Allegro molto con fuoco

シヨパン

6. ハープ独奏

宮田ふたば

テーマとバリエーション

7. アルト独唱

宮沢京子

くるみの木

歌劇「メデア」よりネリスのアリア

「あなたと一緒に泣きましょう」

〈休〉

「ヴェーゼンドンクの五つの詩」より「悩」
歌劇「ローエングリン」より「エルザの夢」

ワーグナー
ワーグナー

M・トウルニエ

シューマン

L・ケルビーニ

1. ヴァイオリン独奏
尾崎永世

ヴァイオリン協奏曲(ロ短調) 第一楽章

W・ウォルトン

2. アルト独唱

秋吉千枝子

少女の問答

歌劇「リナルド」より「いとしい花嫁」

ハイドン
ヘンデル

3. ピアノ独奏

伊藤恵子

バラード(第三番) 作品四七 “Allegretto”

スケルツォ(第三番) 作品三九 “Presto con fuoco”

シヨパン
シヨパン

4. ヴァイオリン独奏

高野百合子

ヴァイオリン協奏曲(第二番)

第一楽章 Allegro non troppo

バルトーク

8. ピアノ独奏

山下泰夫

謝肉祭(作品九)より

9. ソプラノ独唱

大國文代

献呈

歌劇「仮面舞踏会」より「つみとらば恋の炎は消ゆるか」ヴェルディ

R・シュトラウス

シューマン

10. フルート独奏

細川順三

詩曲

グリフィス

11. バリトン独唱

松浜敏郎

「冬の旅」より

菩提樹 あふるる涙 川の上で

シューベルト

5. ソプラノ独唱

山本恵子

12. ヴァイオリン独奏

塚原るり子

ヴァイオリン独奏曲(第一番)

プロコフィエフ

第一章 Andantino

グレートヘンの願い
幸福

シューベルト
シューベルト

第二章 Scherzo (Vivacissimo)

13. ピアノ独奏

青柳いづみこ

シヨパン

練習曲集(作品二五)より

20. テノール独唱

山口英孝

プーランク

14. ソプラノ独唱

沢木京子

君いつの日帰る

ドナウデイ

「メーリケ歌曲集」より「隠棲」

歌劇「オテロ」より「オテロの死」

ヴェルディ

歌劇「トゥーラントッド」よりリユーのアリア

ブッチーニ

「氷のような姫君のお心も」

〈休〉

21. アルト独唱

山崎百合子

ベツリーニ

歌劇「ノルマ」より「祈りの歌」

万霊節

万霊節

R・シュトラウス

15. ヴァイオリン独奏

森田淑子

ブラームス

ヴァイオリン協奏曲ニ長調(作品七七) 第一楽章

(四月十八日の邦楽演奏以外横組)

16. アルト独唱

宮沢雅子

ブラームス

ことづて

「祖国のことを考えて」

ロッシーニ

歌劇「アルジェリアのイタリア人」より

ブラームス

「祖国のことを考えて」

17. ピアノ独奏

吉田真理

シューマン

フモレスケ(作品二〇) 変ロ長調

理事会の要約(第二信)

18. ソプラノ独唱

三島洋子

シューベルト

笑いと涙

シューベルト

糸を紡ぐグレートヘン

シューベルト

(冒頭の挨拶、I庶務部、II会計部は省略)

会場 芸大 第一会議室

日時 昭和五十一年七月十五日(木) PM 4・13~5・32

III 事業部(新卒演奏会)

(部長) 細部については気のついたこともあるが、現段階では赤字も出ず、大体スムーズに実施されているといつてよい。全体にわたる概略の説明は、実務担当の沢野理事にしてもらう。

(沢野)

- ① 九月に入つて申込書により、演奏曲目の提出を開始する。曲目の提出期限は十一月中旬。原稿のまとめ、印刷、校正のあと、チラシの刷り上がりが十二月。こんなスケジュールだが、曲目の提出が遅いから、チラシの印刷が大幅に遅れる。
- ② チラシの曲目と本番の曲目とが変わるのが目立つ。これは曲目の提出をせかして、「本番の曲が変わってもよいから、兎に角、早く出せ。」と請求することにも原因するので仕方ないとも思う。
- ③ 二月に入り、もう一度曲目を確かめる。このときでさえ、本番曲目は変えるかも知れないということを前提にして決める生徒もふえて来た。
- ④ プログラムに載つてから、当日無断欠席する生徒も少しはある。
- ⑤ 来年は四月中旬に開催の予定。従つて、一月中にチラシ、チケットを生徒に配ることになる。
- ⑥ 広告料。本年は期待どおりにはいかなかった。来年はよいスポンサーを得たいので、あつせん方よろしく頼む。
- ⑦ 聴衆、採算を抜きにして、もっと動員しなければいけない。これはプログラムの組み方による影響かも知れない。声楽、ピアノ、絃、管などをそれぞれ別々に、かためてやる

方法と、それらを混ぜてやる方法とがあるが、こちらで皆さんの意見をききたい。

⑧ 褒賞。審査して同声会賞(例 楯)を与えるようにしてはどうだろうか。当該学生の経歴になり、出演の刺戟になると考えるが。

⑨ 出演の手続。出演申込書に担任の捺印を必要とすることにしては如何?

以上の説明、提案に対して、数多くの感想、意見、提言続出

① 出演に担任の判子をもらうことについて

○ 抵抗がある。元来、出たい人はどうぞというのが趣旨だから、強制的なのはよくない。ルーズな者がたまに出ても仕方がない。担任にあと押しをお願いすることはいいが。

○ 飽くまでも生徒に自覚を持たせるより外に手はない。

② 曲目提出(の時期)について

○ 九月に曲目提出というのは早すぎる。生徒はあの曲、この曲と迷うだろう。卒業試験曲とすり替える者もあるだろうし。

○ 出たい希望はあつても、卒業判定前だと、曲目提出を渋る者の中にはあるだろう。

○ 本プロできちんとしたものが出ればよいので、チラシには曲目を書かなくてもよいのではないか。

○ 事務的に可能な限り遅くしてやる配慮が欲しい。

(沢野) 二月初めに、二月末期限りで、本プロ曲目確認状を発送するが、実際には三月十日頃まで待つてやっている。それでも本番で曲目を変更する者が数人出るのが実情だ。

○ 切符を扱う側としては、遅くとも十二月末までに決めてもらわねば困る。

③ 出演について

○ 本プロと実際とが違うのは困る。

○ 出演日の違う者がある。出演順番の狂うのがある。

○ 自分の都合や伴奏者の都合もあろうが、自分勝手に変更するのは困る。

○ だからといって出演を断わることもできない。

○ 聴衆の立場から

・ 聴きたい人がその日に出なかつたら、がっかりする。

・ 曲を聴きに来るのか、それともその人の演奏を聴きに来るのか。

・ 演奏を参考にするために聴きに来る人もいる。

○ 一日の曲目数は最高十八なので、日の変更によりこれを超すと辞めてもらうのも止むを得ない。

○ 音楽会期間中なら、プログラムはどうあろうと、いつ出てもよいとルーズに思われては困る。

○ プログラムに載っていて、無断欠席は問題だ。

○ 本人の誓約書を入れさせてはどうか。

○ まさか子どもでないから——。

○ 演奏会が侮辱された感じがする。演奏主任から注意してもら

つたら？

○ 卒業した者には注意のしようがない。

○ 結極、出演についての本人のモラルの問題だ。

○ 今後はこんなルーズなことのないよう、指導を徹底せねばならぬ。

④ プログラムの編成について……科別(種目別)か、混ぜるか。

○ 歌、バイオリン、ピアノなど混ざった方が人が平均して聴きに来る。

○ 声楽ばかりかためてやったことがあるが、コンクールではないという声が出た。

○ 同声会は卒業生を歓迎して演奏会を開くことから、結果として、コンクール形式になるのは好ましくない。

○ 聴く側に立つて考えると、いろいろの種目を混ぜてやられると、聴きたくない種目も聴かねばならず、詰まらないだろうと思う。まとめた方がサービスピ精神はある。

○ 出る側のことも考えてやらねば……

○ ある演奏会でこんなことがあった。ある種目が終わると聴衆は出て行く。ある種目が始まるとまたはいつて来る。極端な例だが、これはひどい。だが、この現象はわが同声会にも大なり小なりはある。われわれは同声会の趣旨から云って、当然出演者の身になって考えてやるべきだ。

○ 出演者が主か、お客さんが主か、お客さんはどんな種類の人——(研究のために来る人？ 一般のいろんな人？)——が来るか

○ 混ぜたプログラムだから、教官は滅多に聴きに来ないが、大
学教官よりも、お客さんに魅力を持たせねばならぬ。

○ 来年は聴衆全員からアンケート(○×式の)をとってみては
どうか。

・ 種(科)別プロか。

・ 混合プロか。

・ 混合プロの中でもいろいろ変化をつける。例えば

声—S・A・T・Bの変化

器—ピアノ、バイオリン、チェロ、等の変化、管も

……

性別変化も考える。

◎ 結極^{ツマ}、来年一度実験(アンケートの)してみることに落ちつ
く。

⑤ 出演者の問題

○ 出す生徒は学校で選ぶべきだという声もある。

○ ちよつと歌えたら、ちよつと吹けたら、楽器を持っていたら、
やらしてくれるところ(放送その他)がある世の中で、それら
とわれわれのと、どこで線を引くか。

○ あれば芸大の卒業演奏だといっている人もある。

○ 大事なことは、同声会は卒業生を迎えてあげるための音楽会
を開催しているということ、中には卒業後、ひとりではなかな
か演奏会を開けない者もあるだろうし、またこれっ切り一生ス
テージに立たない人がいるかも知れない。兎に角、世の中に迎
えてあげるといふ段階の音楽会だ。

○ 同声会の趣旨よりも芸大のレベルを頭に浮べる聴衆がいる。

○ 出演生徒に悪い意味の優越感、安易感が出ることを恐れる。

○ 会の趣旨を自覚していない生徒は、突然休んだり、音楽会を
甘くみる。

○ この会の趣旨を申込書を渡すときに、よく話して理解させね
ばならない。

⑥ 同声会の褒賞について

○ 優秀な者に同声会賞を出してはどうか。

○ 世の中に送り出す「餞の会」なんだから、賞を出すとなると
根本的に会の意味が違って来る。

⑦ 演奏会の質向上について

○ 会の趣旨はよくわかったが、このまゝマンネリでいくと、会
の権威が失われることを心配する。

○ 会に魅力を持たせ、会の質を良くするために、出演者の厳選
を考えてみてはどうか。このまゝでは長く持たないと思う。

○ 出演者の側からいうと、この会に権威がないから、ルーズに
なる者も出て来るのではないかな？

○ 同声会の権威というけれど、それは第三者(聴衆)が一番批
評している。さすがは芸大卒だと評価しているのをよく聞く。
あんまり内部で神経質にならず、みんなで育て、いく方向で進
みたい。

○ 同声会の音楽会に出なきやあ損だと、出ることを名誉に思う
ように向上させていきたい。

○ そのためには、学校と連絡をとり、出演者選択の資料を教え

てもらってはどうかだろう。

○ 学校は恐らく教えないだろう。

○ 然し、この社会は矢張り技術の社会だから、本気で考えねばならない。

○ さつき話に出た担任の印となると、担任の責任が重くなるので、部会として出してもらったらいではないか。

○ 担任の推薦でなく、部で (Border line) を引いてもらって推薦してもらおうようにしてはどうか。

○ 担任でなく、部会の推薦ならいいだろう。

○ もうそろそろこういう時期に来ているかも知れない。

○ 問題は、芸大というものを背景にして考えねばならないということだ。ある程度の Level がないと困る。

⑧ 部会の協力を得るための手続き

○ こちらから、こうしてくださいとはいえないから、まず同声会の実情や意見を主任に伝え、推薦を依頼する。

・ 人数はこちらで決めて

・ 各部会に持ち帰って相談してもらおう。

○ この案は来年から絶対に実施せよというのではなく、徐々に改質して行くようにしたらよい。出演者推薦選定については、大学との関係もあるから、先生方の意見も聞いた上で進めて欲しい。

(会長) 卒演の実情を先生方によくお話して、どうしたらいいかと考えていただきますでしょう。

(謄写版・横書き)

同声会主催芸大新卒業生演奏会

事業計画書

1. 卒業生演奏会の目的

東京芸術大学音楽学部新卒業を機会に、卒業生を激励し、彼等を社会に紹介することを目的として演奏会を行う。

2. 出演者の選抜

芸大教官によって組織されている声楽、ピアノ、弦、管、打楽器の各部会が、その年の卒業生の中から推薦した者にたいして同声会は出演の機会を与えている。

3. 入場券販売と広報活動

入場券は出演者、芸大の教官、同声会役員、芸大卒業生に配布しそれぞれの関係者とすすめる。また都内各前売所にも扱っている。

広報活動は音楽関係誌、新聞等に広告するほか、チラシの配布を積極的に行っている。

4. 卒業生演奏会事業年間日程表

十一月中旬 出演申込書を芸大教官で組織されている各部会に提出

一月中旬 出演者及び演奏曲を決定

二月中旬 チラシ、チケット、招待状など印刷物完成、関係方面に配布開始

三月上旬 各企業よりプログラム広告取開始、同時に広報活動も開始

三月中旬 出演者の演奏曲再確認

四月上旬 プログラム印刷完了

四月下旬 本番(三日間)

一日目 声楽の夕べ

二日目 ピアノの夕べ

三日目 弦管打楽器の夕べ

五月上旬 プログラム広告料請求書を各企業に発送

五月中旬 第一回入場券精算者調査

六月中旬 第二回入場券精算者調査

六月下旬 プログラム広告料入金調査

七月上旬 印刷費の支払いなど未払金の精算

七月中旬 第三回入場券精算者調査

(横書き)

東京芸術大学音楽学部

昭和五十六年(三月)卒業生演奏会

主催 東京芸術大学音楽学部同声会

第一夜(四月二十二日(水)午後六時開演)

1. ソプラノ独唱

岩井里香

ヴェーゼンドルクによる五つの詩より『夢』……………ワグナー
楽劇「タンホイザー」より……………ワグナー

エリザベートのアリア『歌の殿堂』

2. アルト独唱

小濱妙美

地上からの解放……………R・シュトラウス
歌劇「カルメン」より……………ビゼー

カルメンのアリア『セギディリア』

3. ソプラノ独唱

上地恵美子

ジブシーソングより……………ドボルザーク
『わが歌ひびけ』……………ドボルザーク

歌劇「ルサルカ」より……………ドボルザーク
ルサルカのアリア『白銀の月』

4. テノール独唱

杉江秀

雪……………レスピーギ
歌劇「マクベス」より……………ヴェルディ
マクダのアリア『あゝ父の手は』

5. ソプラノ独唱

大塚由乙

「わがうた」より『ひぐらし』……………團伊玖磨
歌劇「運命の力」より……………ヴェルディ
レオノーラのアリア『神よ平和を与え給え』

6. バス独唱

大門康彦

接吻……………ベートーヴェン
歌劇「セヴィリアの理髪師」より……………ロッシーニ
バルトロのアリア『世間の人から博士と呼ばれる このわしは』

7. ソプラノ独唱

金玄淑

思い出……………マラー
歌劇「トロヴァトーレ」より……………ヴェルディ
レオノーラのアリア『恋はばら色の翼にのりて』

8. アルト独唱

中島 厚子

「テイトの慈悲」より……………モーツァルト

ヴェテリアのアリア「夢に見し花嫁姿」

霧……………レスピーギ

9. ソプラノ独唱

笹原規代

私はただ黙って嘆くでしょう……………ロッシーニ

歌劇「イリス」より……………マスカーニ

イリスのアリア「私は悲しい夢を見た」

10. テノール独唱

関根宣義

雪……………レスピーギ

歌劇「アルルの女」より……………チレア

フェデリコのアリア「ありふれた話」

11. ソプラノ独唱

下浦雅子

歌劇「蝶々夫人」より……………ブッチーニ

蝶々夫人のアリア「ある晴れた日に」

12. バス独唱

山崎 岩男

愛と死……………ドニゼッティ

歌劇「フィガロの結婚」より……………モーツァルト

フィガロのアリア「もう飛ぶまいぞ」

13. ソプラノ独唱

竹仲 智子

「リーダークライス」より……………シューマン

「間奏曲」

歌劇「売られた花嫁」より……………スメタナ

マリンカのアリア「とうとうひとりになれた」

14. アルト独唱

萩原かおり

万霊節……………R・シュトラウス

歌劇「カヴァレリアルスティカーナ」より……………マスカーニ

サントウツツアのアリア「ママも知る通り」

15. ソプラノ独唱

原田 泉

通りをゆく若者よ……………E・ヴォルフ・フェルラーリ

歌劇「ウイリアム・テル」より……………ロッシーニ

マティルデのロマンツァ「暗い森」

16. テノール独唱

辻 秀 幸

歌劇「後宮からの逃走」より……………モーツァルト

ベルモンテのアリア「なれに再びまみゆる喜び」

「喜びの涙流るとき」

17. ソプラノ独唱

榎島みどり

高揚……………シェーンベルク

歌劇「仮面舞踏会」より……………ヴェルディ

アメリカのアリア「あの草を摘みとって」

18. ソプラノ独唱

峰岸 房子

歌劇「椿姫」より……………ヴェルディ

ヴィオレッタのアリア「あゝそはかの人か」

19. アルト独唱

山崎 明 美

献呈……………R・シュトラウス

歌劇「セミラーミデ」より……………ロツシーニ
セミラーミデのアリア「麗しい光が」

20. ソプラノ独唱
米川 共よね かわ 共 きよ

星……………R・シュトラウス
歌劇「リゴレット」より……………ヴェルディ
ジルダのアリア「慕わしい人の名は」

第二夜（四月二十五日（土）午後六時開演）

1. ピアノ独奏
青木 伯江あおき のり 江 え

バラード（第二番）ロ短調……………リスト

2. ピアノ独奏

磯野由利子

「十の前奏曲集」作品二三より……………ラフマニノフ

第四番 Andante Cantabile

第五番 Alla Marcia

第七番 Allegro

3. ピアノ独奏

小笠原智子

「クライスレリアーナ」作品一六より……………シューマン

第一番 第二番 第七番 第八番

4. ピアノ独奏

奥平純子

「夜のギヤスパール」より……………ラヴェル

I オンディーヌ (Ondine)

II スカルボ (Scarbo)

5. ピアノ独奏
押川 康子おし かわ やすこ

「さすらい人幻想曲」ハ長調……………シューベルト

第一楽章 Adagio
第二楽章 Presto
第三楽章 Presto
第四楽章 Allegro

6. ピアノ独奏

川中順子

組曲「イベリア」より……………アルベニス

I エボカシオン

II 港

III トリアーナ

7. ピアノ独奏

北川純子

「幼児イエズスにそそぐ二十のまなざし」より……………メシアン

第八曲 高きみ空のまなざし

第十五曲 幼児イエズスの口づけ

8. ピアノ独奏

佐藤真知子

「プレリユード、コラールとフーガ」より……………フランク

コラールから

9. ピアノ独奏

佐藤道子

「幻想曲」作品一七より……………シューマン

第一楽章

10. ピアノ独奏

竹原 暁子はら あきこ

「小品集」作品一一八より……………ブラームス

第一番 第二番 第三番 第六番

11. ピアノ独奏

西川 理香

楽興の時(作品一六)……………ラフマニノフ

12. ピアノ独奏

三国 正樹

「練習曲集」作品一〇より……………シヨパン

第一番 八長調

第二番 イ短調

第三番 ホ長調

第四番 嬰ハ短調

第十二番 ハ短調

13. ピアノ独奏

鷲見 径子

「映像」より……………ドビュッシー

I 水の反映 (Reflets dans l'eau)

II 運動 (Mouvement)

III 金色のさかな (Poissons d'or)

第三夜(四月二十八日(火)午後六時開演)

1. バイオリン独奏

小口 あけみ

ソナタ(第一番)作品七八より……………ブラームス

第一楽章

2. フルート独奏

福岡 香

フルートとピアノのためのソロコンツェルト(第六番) 作品八二

……………メンデルスゾーン

3. クラリネット独奏

牧 慎一

序奏とロンド……………ヴィドール

4. バイオリン独奏

清水 厚師

ウィーン奇想曲……………F・クライスラー

中国の太鼓……………F・クライスラー

愛のよろこび……………F・クライスラー

5. フルート独奏

藤森 さおり

ソナタ(第一番)……………ルイ・モイーズ

第二楽章 Lento-Scherzo

第三楽章 Allegro Scherzando

6. ピオラ独奏

小野 尚

ピオラのためのソナタ(ハ短調) 作品二二〇の一から……………ブラームス

第一楽章

第二楽章

7. サクソフォーン独奏

井上 ひとみ

プレリユード、ガデンツとフィナーレ……………A・デザンクロ

8. バイオリン独奏

堀内 京子

ラプソディ(第一番)……………B・バルトーク

9. 打楽器独奏

黒木 博子

打楽器コンツェルト……………A・ジョリベ
第一章 Robuste
第二章 Dolent
第四章 Allegement

10. ビオラ独奏
西下みゆき

ソナタ(第一番) 作品二二〇より……………ブラームス
第一章 Allegro appassionato

11. フルート独奏
若林有子

詩曲……………C・T・グリフス

12. バイオリン独奏

益田吾郎

無伴奏バイオリンソナタ(第二番)……………イザイ

第一章 前奏曲

第三章 サラバンド

[横組]

同声会主催 昭和五十七年三月卒業生
演奏会おわる

同声会が主催して行っている毎年四月の新卒業生演奏会も、各位のご協力のお陰で回を重ねること今年で十回め、昨年(五十六年三月卒業生)から出演者も大学からの推薦者に限ると改めて、演奏日もそれまでの五日間を三日間に短縮し、さらに声楽の日・ピアノの日・器楽の日と区分を明確にした処にわかに入場者も増大し、いよいよこの演奏会の評価を高めている。今までのように五日間も演奏会の期日を要し、誰れでも出演できた頃はお客も自分の関係者が終

ると挨拶して帰ってしまったものだが、前述の方法に改めてからお客が終りまで聴いているようになった。これが本当の音楽会である。

〔同声会会報〕第三二四号 昭和五十七年七月 一六頁

(三) 会員の研究発表助成

昭和五十七年二月四日の常務理事会において、定款改定に伴う事業の追加について話し合われ、積極的に公益の実現を計るために新規に二つの事業を加えることが決定した。一つが会員の研究発表助成であり、もう一つが次の(四)項に取り上げる音楽に関する講習会の開催である。

研究発表助成事業は、同声会員が自己の研鑽の成果を発表するために演奏会を開催する場合、同声会が演奏会の事務手続きおよび事務処理を担当し、支援することを目的とした。諸般の理由により昭和六十二年度をもって終了したが、その間、十五件の演奏会がこの助成を受けて開催された。

ここでは、事業計画書、マネージメント第一号の演奏会の報告記事、開催された演奏会の一覧および年度別の収支決算書を掲載する。

定款第五条第四項 会員の研究発表の助成

1 目的

会員が研究発表会リサイトを開く場合、会場の予約をはじめプログラム、チケット、チラシ等の印刷、他、それに必要な一切の業務を実費をもって行ない会員の研究発表に援助を与え容易にするものである

2 方法

本人より演奏会を開催するために必要な事項並に希望、予算(費用)等を取り演奏開催までの一切の業務を本会の主旨に賛同す